

平成30年度茨城偕行会総会

事務局長 佐々木克徳（陸自71）

茨城偕行会は、平成30年度総会を6月22日（金）霞ヶ浦駐屯地において開催した。本年度の総会参加者は、来賓7名、会員26名の合計33名。

開会に先立ち、総会会場のB庁舎5階会議室において、記念撮影を行った後、10時湯原弘副会長（陸自68）の司会で総会を開始した。国歌斉唱、戦没英霊・殉職自衛官・物故者に対し黙祷を捧げた後、体調不良で欠席の原会長に代わり金澤孝一副会長（陸自58）が挨拶。

ご来賓の祝辞は（公社）茨城県隊友会会長 小原大森様、（公財）偕行社副理事長 熊谷猛様からいただいた。

議事は、議長を金澤副会長、説明を佐々木事務局長（陸自71）が務め、29年度事業報告・収支決算（1、2号）、30年度事業計画・収支予算（案）（3、4号）、役員人事（5号）の全ての議案について原案通り可決。特攻勇士之像建設事業の報告についても了承されて総会議事は、滞りなく終了した。

第2部の記念講演は、航空学校霞ヶ浦校長 佐藤健一等陸佐の「霞ヶ浦駐屯地及び関東補給処の活動と陸上自衛隊の新改編の概要等」を拝聴する。

陸上幕僚監部渉外班長として偕行社との交流が多かった佐藤校長はユーモアあ

ふれる自己紹介と共に陸上自衛隊の現況や新改編の方向等について予定時間を超過して熱弁を振るわれた。

12時15分からの懇親会は、場所を駐屯地厚生センターに移して実施。記念講演以降参加の茨城地方協力本部長 山下慎一 等陸佐、武器学校副校長 中村佳伸 一 等陸佐、関東補給処総務部長 麻生竜伸 一 等陸佐、施設学校総務部長 永井克征 一 等陸佐よりご挨拶をいただいた後、和やかな会食に移行した。

懇親会では、司会の湯原副会長の指示に従って賛助会員や総会初参加者、従前会員の皆様から自己紹介や近況報告、会活動への期待等が語られた。

会員相互に情報・意見交換と親睦を深めあう中、予定の時間となり、13時懇親会は締めくくられた。

今回の総会は、13時から希望者による関東補給処施設（航空部の保管倉庫）の研修を実施。平素目にするのではない施設と共に、国際緊急援助隊や災害派遣に即応する航空部隊の後方業務を支える現場を確認し、多くの会員から感嘆の声があがった。

最後に、駐屯地広報班の案内で駐屯地広報センターを研修。霞ヶ浦海軍航空隊以降の霞ヶ浦駐屯地に関する歴史や懐かしい資料を目にすることが出来た。

あつという間に予定の時間が過ぎ、14時参加者一同再会を約して会場を後にし

た。

本年度総会は、霞ヶ浦駐屯地司令はじめ関係者の皆様の絶大なご支援ご協力を得て、大田保重監査役（陸自71）の綿密な調整のもと素晴らしい総会や記念講演、部隊研修等の機会となったこと、誌面を借りて御礼申し上げます。

前出以外の出席者（敬称略）

矢作榮一（大幼49）、井元潔（陸自57）、増田忠則（陸自59）、福井正躬（陸自60）、水越美知（陸自61）、奈良崎信一（陸自62）、大高哲男（陸自66）、黒木侔（陸自68）、長野陽一（陸自69）、山根峯治（陸自70）、中久喜勉（陸自72）、坂本憲昭（陸自75）、鈴木義長（陸自76）、樋口達哉（陸自86）、坪沼浩（陸自01）、荻沼蔵次（准



平成30年度茨城偕行会総会 於：霞ヶ浦駐屯地

陸尉）、大川豊（陸事務官）、齋藤勝彦（陸事務官）、高野愈己（陸事務官）、永井勇（賛助）、藏重昂之（賛助）

第6回相武台陸軍士官学校会

- 時期 平成30年10月16日（火）
- 場所 座間駐屯地
- 集合 小田急線相武台前駅10・30
- 細部は、事務局にお尋ねください。